



フィリピン人材確保に係る視察旅行



本視察はフィリピン・マニラのNTセンターを拠点に、1班（6/16～18）、2班（6/17～19）の2日程で実施し、日本から16名の事業者が参加しました。参加者からは「フィリピン人材への理解が深まった」との声が多く寄せられ、予定通り好評のうちに終了しました。なお、介護事業者の一部は大阪府補助金の申請を予定しています。



マニラ到着後には、現地スタッフからフィリピンの歴史や社会、経済状況について説明を受け、その後の夕食会では関係者の皆様と交流の機会を持ちました。夕食の場では、現地の実情や今後の人材交流に関する意見交換も行われ、有意義な時間となりました。



NTセンターでは講演と学校視察が行われ、介護を学ぶ28名の学生との面接・交流の機会を持ちました。その後はマカティ地区などを訪問し、経済格差の現状を視察。夜には合同懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。



大型スーパーやファーストフード店を巡り、商品の価格や利用状況を通して現地の生活水準や物価を体感しました。参加者からは「日本との違いがよく分かった」との声もあり、現地を身近に感じる貴重な時間となりました。

写真：ローソン サンロレンソアヴィダ店

COMMENT

一般財団法人共生支援センター 代表理事 小牧義昭

今回の視察では、日本語学校PADの教育水準や、学生の礼儀・就労意欲の高さを実感し、参加事業者の採用意向、そしてTAI-FILとの信頼関係も深まり、フィリピン人材への理解がより具体的なものとなりました。



働く外国人のサポーター

プリマベラ・ジョージさん

日本ペトロ株式会社 トータルケア事業部
公益財団法人 東亜総研 大阪事務所

フィリピン出身
国際大学(新潟)、京都大学大学院経済研究科に留学
金型メーカー勤務を経て、現在は、在日フィリピン人
など外国人サポートに従事

日本で働く外国人を 支える力に

日々「やりがい」を感じ、「有意義」で
「満足度が高い」仕事と捉えています。

「私の仕事は、日本で働く外国人を支えること。」

普段は聞き手のプリマベラ・ジョージさんに、日本での挑戦や乗り越えてきた経験をお話しいただきました。（インタビューア：共生支援センター 小牧代表理事）



小牧：なぜ日本に留学しようと思われたのですか？

ジョージ：2003年当時、日本はGDP世界2位の経済大国でした。

なぜここまで成長したのか、その歴史を学びたいと思いました。

また、漢字やひらがなにも惹かれ、日本をもっと知りたくて留学を決意しました。

学びと就職

小牧：大学では何を学ばれましたか？

ジョージ：日本経済史を専攻しました。

小牧：その後、日本で働こうと思った理由は？

ジョージ：日本人と結婚することになり、生活のために働き始めました。

小牧：なぜ日本ペトロに？

ジョージ：私自身、来日当初は日本語ができず苦労しました。

その時、多くの人に助けてもらった経験から、今度は自分がフィリピン人をはじめとする外国人をサポートしたいと思ったのです。

現在の仕事

ジョージ：今は「どうすれば外国人が日本社会になじみやすいか」を常に考えています。

日本企業の人手不足解消と、フィリピン人の雇用創出につながる仕事だと捉えており、とても有意義です。

家族について

小牧：ご家族は？

ジョージ：妻と3人の娘、そして犬（メス）。

完全に女系家族です（笑）。



趣味

小牧：趣味は何ですか？

ジョージ：映画鑑賞です。最近では「鬼滅の刃」を子どもと観て、とても感動しました。

日本での暮らし

小牧：日本に住んで良かったことは？

ジョージ：日本は常に「改善」し続ける国ですね。トイレひとつをとってもどんどん便利になる。その意識の高さに感心しています。

日本で働くフィリピン人へのアドバイス

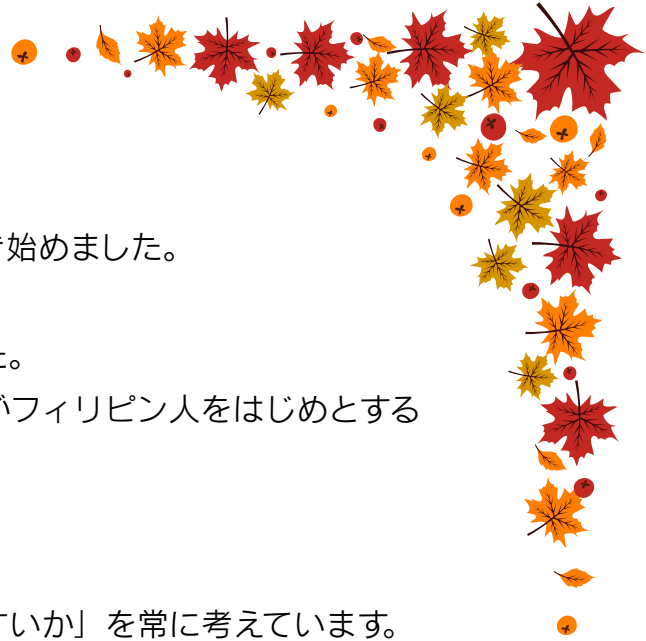
ジョージ：日本から学べることは学び、フィリピンに戻ったときの武器にしてください。

何のために来日したのかを忘れず、ギャンブルや酒に溺れることなく、目標に向かって努力してほしいと思います。

最後に

ジョージ：これからも、日本を支える外国人労働者は増えていくでしょう。私は、そんな彼らを全力でサポートする存在であり続けたいと思っています。

小牧：本日はありがとうございました。





北見で育つベトナムインターン生の笑顔



北海道北見市の旅館「大江本家」では、本年4月より、ベトナム・ハロン大学から来日した3名の学生が1年間のインターンシップに取り組んでいます。彼らは入国時に共生支援センターで10日間の「おもてなし講座」を受講し、日本での接客マナーや文化を学ぶことができました。

この度、共生支援センター小牧代表理事が、3人に会うためプライベートで9月4日に「大江本家」に宿泊しました。

学生たちは元気に働き、旅館スタッフの一員として活躍しており、学んだマナーや心遣いがしっかり身についている様子が見え、うれしかったです。今回の訪問を通じて、初めて実施した「おもてなし講座」が現場で役立っていることを実感し、とても嬉しく思いました。



一般財団法人 共生支援センター

共生支援センターは、外国人と日本人が安心して共に暮らせる社会をめざし、日々活動を続けています。

取り組みは多岐にわたり、生活相談・就労支援・教育サポートなどを通じて、日本で暮らす外国人が直面するさまざまな課題に対応しています。言葉の壁や文化の違いによる不安、学校や職場での悩みなど、どんな小さなことでもお気軽にご相談いただけます。

「困ったときは、いつでも連絡できる場所がある」

そう思っただけのこと、私たちの大切な使命です。

外国人も日本人も、互いに理解し支え合うことで、もっと豊かで温かい社会がつけられていく——。その実現に向け、共生支援センターはこれからも力を尽くしてまいります。



大阪の技能実習の入国後講習なら

一般財団法人共生支援センター

[営業時間] 9:00 - 17:00

[定休日] 土日祝

[お問い合わせ] 06-6348-8585

[HP] <https://pad-station.com/>

[所在地] 〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-1000 大阪駅前第2ビル10階

